

障害福祉サービス事業所における リハビリテーション専門職の支援ニーズ －新潟県における実態調査－

公益社団法人 新潟県作業療法士会
障害福祉対策委員会

はじめに － 障害福祉領域における課題 －

■今後益々リハビリテーションの**質の向上及び成果**が求められ、**入院期間の短縮**、**地域移行の促進**などの動向も見受けられる（厚生労働省2017）。

■回復途中であったり、心身の状態が不安定でも地域に移行するケースが増加することが予想されることや地域包括ケアシステムの構築に向けて、**医療と障害福祉の連携強化は急務の課題**である。

障害福祉領域においてリハ専門職の支援ニーズがあることはこれまでの報告から確認できる。しかし、具体的にどのような支援や障害福祉サービスで、どの程度の必要性があるのか明らかになっていない。

目的

本研究では、障害福祉領域において、主に施設責任者が考えるリハ専門職の必要性を明らかにし、多職種が期待している支援から対象者及びその家族への支援の在り方を検討するための基礎資料とする。

用語の操作的定義

1. リハ専門職

「PT, OT, STの3職種」のこと

2. 障害福祉領域及び障害福祉サービス

障害者総合支援法の枠組みでサービス提供
「生活介護」

「機能訓練, 生活訓練,

就労移行支援, 就労継続支援A型・B型」

「地域移行支援, 地域定着支援, 計画相談支援」

方法

■調査期間

2017年12月11日～2018年1月26日

■方法

無記名自記式質問紙調査法によるアンケート調査

■依頼施設数

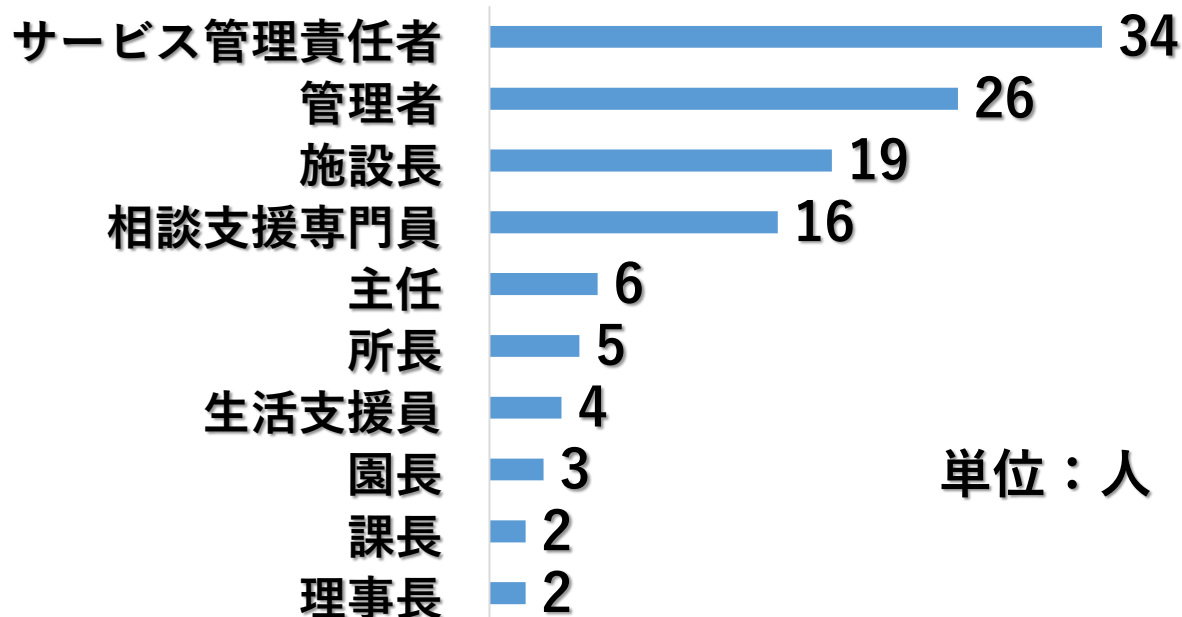
240施設



結果

－回収率と基本属性－

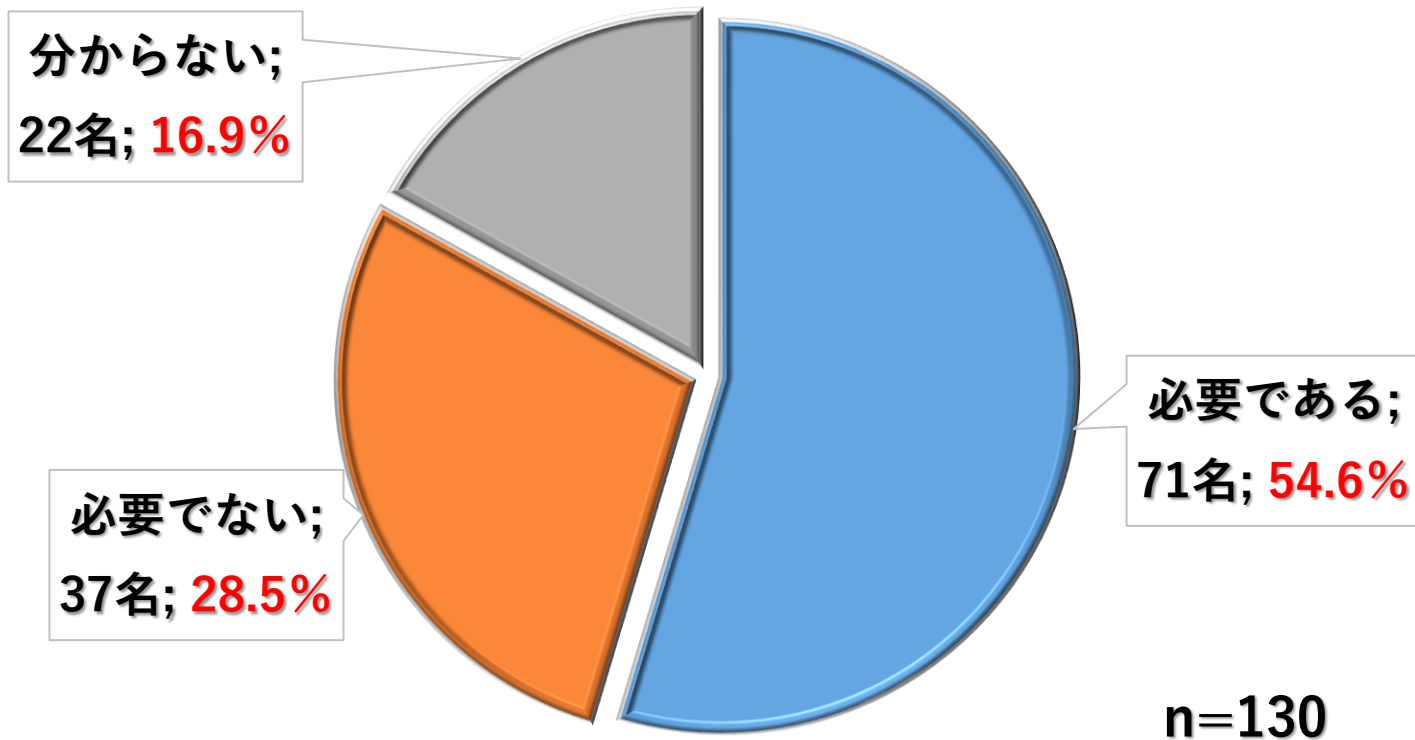
- 回収率：240施設中**130**施設（回収率：**54.2%**）
- 障害福祉領域の経験年数：平均**16.3**年（標準偏差9.8年）
- 回答者の役職・職位（複数回答あり）



結果

－リハ専門職の必要性－

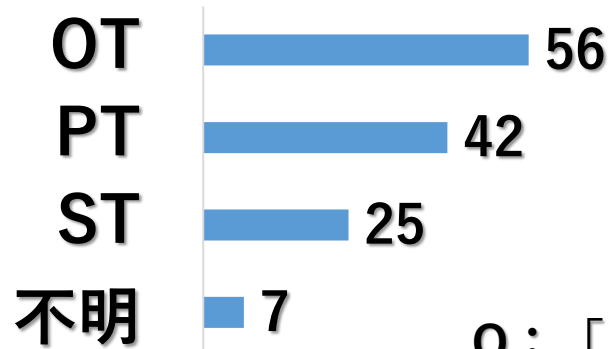
Q：「貴事業所にリハ専門職の必要性はありますか？」



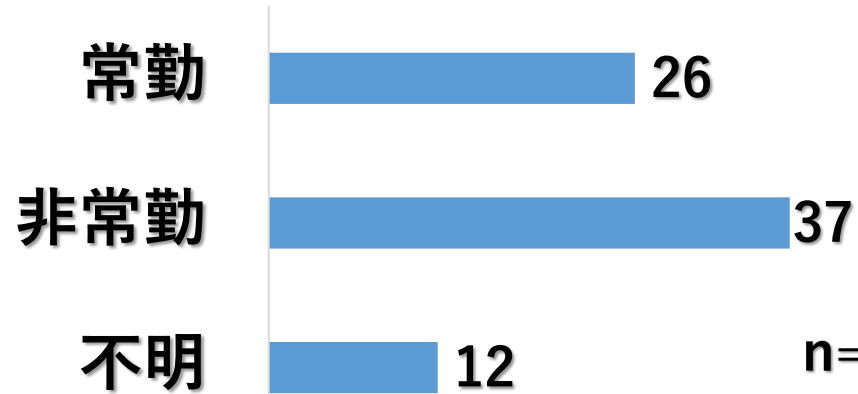
結果

－リハ専門職の必要性－

Q：「どのリハ専門職が必要でしょうか？」（複数回答あり）



Q：「どの雇用形態を希望されますか？」（複数回答あり）



n=71
単位：人

結果

－リハ専門職の必要性－

■事業所別の必要性（複数回答あり）

